



= 追悼号 =

No. 336

昭和50年1月10日  
編集阿久根市  
発行市長公室

昭和43年9月20日 第3種郵便物認可

追悼特集号 1部10円



(市民会館での市葬)

## みたまよ安らかに

○…在職15年有余、地方自治に全精力を傾注された市長…○

○…は、12月20日81歳の天寿を全うし、とわの眠りにつか…○

○…れました。市は12月26日市民会館ホールでみたまの…○

○…安らかに眠られることを願い市葬を行いました。……○

丹宗市長逝

阿久根市の繁栄を願いながら



市報

丹宗市長（八十一歳）は四十九年十二月二十日午前五時二分、鹿児島市立病院で心不全のため死去されました。

昭和三十四年五月一日阿久根市長に就任以来、地域社会の開発に、また地域住民の福祉増進に昼夜をわかつたぬ最大の努力を重ね、市民全ての幸せを基盤とした阿久根市繁栄に向ってひたすら邁進を続けておられました。

故丹宗市長に衷心より追悼の意を表わし、御靈の安らかにお眠りになられることを願い、在職十五年八ヶ月のあゆみと功績を回顧いたします。



## 昭和37年市政報告をする市長



故丹宗市長が逝つて二十日が過ぎ悲しみ新たなものを覚えるが、我々は深い悲しみの中から立ち上つて故人の足跡を偲び、故人の遺志を実現することに努力することが残された任務であることを思い、ここに追悼号を転載することになりました。

## 故丹宗市長を悼んで

阿久根市長職務代理者

助役 江良英 千代

故人は昭和三十四年五月、弊  
望を担つて市長に就任以来、實  
に十六年の長きに亘り市政を担  
当され、社会福祉の向上、教育  
文化の高揚、産業経済の振興に  
粉骨碎身、市民のために尽力さ  
れたその輝かしい業績はあまり  
にも偉大であり、私共の及び  
つかない所であります。

久根を愛し続けながら、逝ってしまった故丹宗市長は偉大な政治家と言えますよ。

私は改市長の足跡を辿りつつその活動力と雄大な構想を学びその教えを守り、示された道をまっしぐらに進んで行きたいと念じております。

名譽市民故丹宗市長のみ靈の安じられることを祈りつつ、その遺徳を称え、丹宗市政十六年間の歴史の一頁を静かにめくつてみたいと思います。

故人は昭和三十四年五月、弊  
望を担つて市長に就任以来、實  
に十六年の長きに亘り市政を担  
当され、社会福祉の向上、教育  
文化の高揚、産業経済の振興に  
粉骨碎身、市民のために尽力さ  
れたその輝かしい業績はあまり  
にも偉大であり、私共の及び  
つかない所であります。

完成した太陽のもとたち  
す限りない恩恵を思う  
とき、故市長の将来を  
見とおした洞察力、氣  
宇の広さ、溢れるファ  
イトに、ただただ頭のみ  
下る思いがいたしま

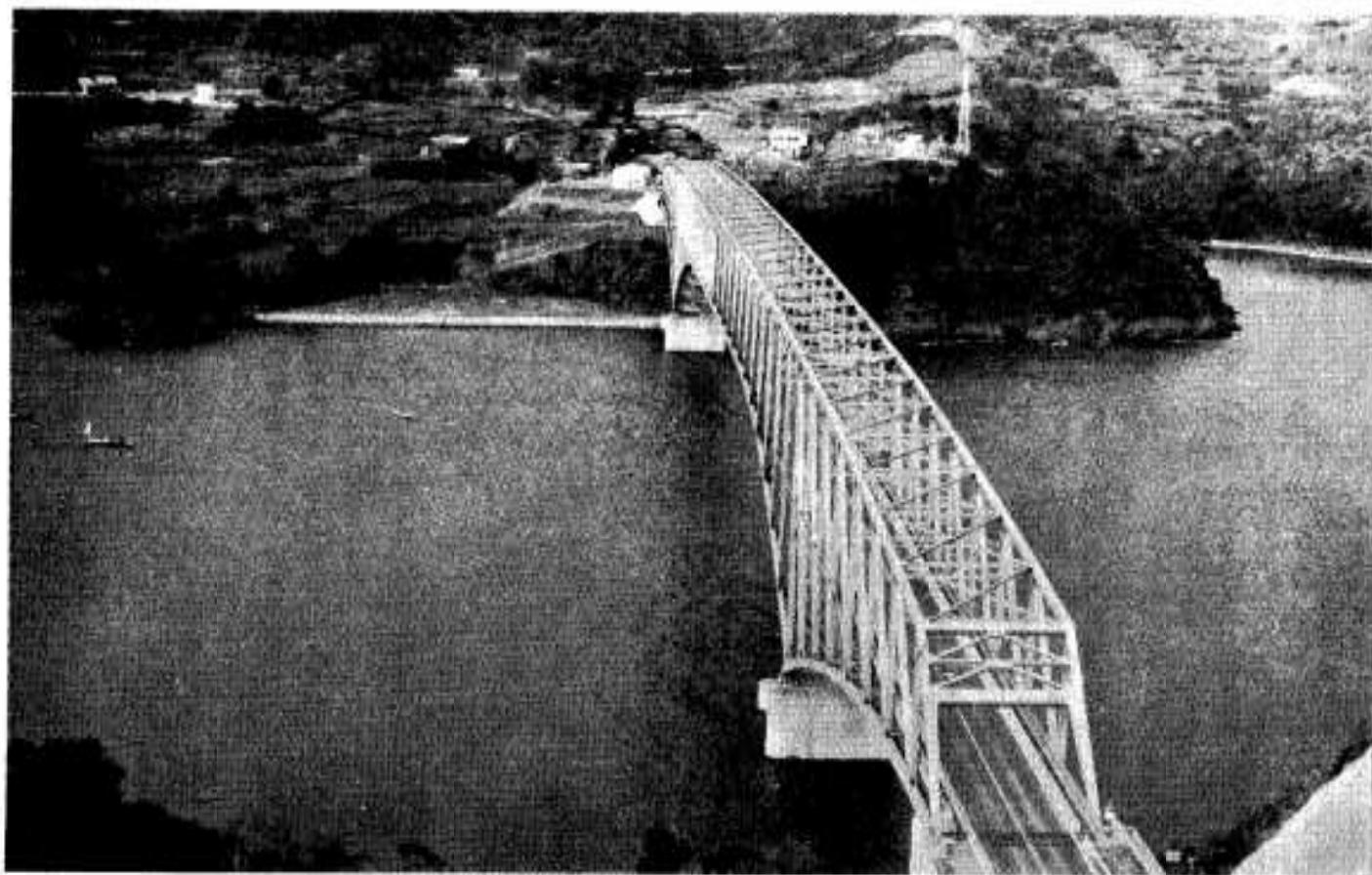
不肖私が去る際若狭の御支援で  
首長の座に就かせて戴き生涯の喜び  
に感激しております。

市長の就任第一声

昭和三十四年五月

市民の皆様毎日家業に精進されて  
御心労のことと存じます。





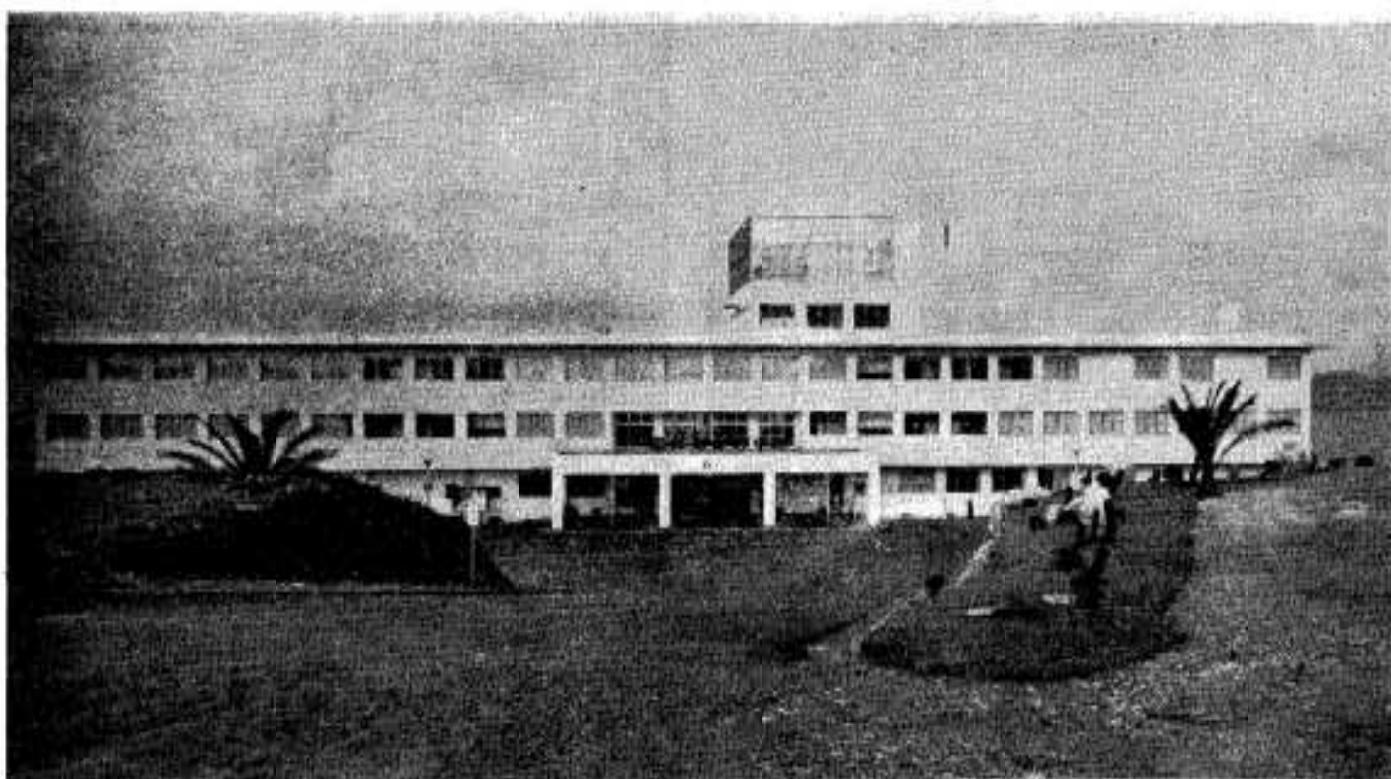
▲昭和49年4月開通した黒之瀬戸大橋＝

総工事費18億5千万円、連続トラス式では東洋一の夢の大橋は、みごとに阿久根と長島を結びました。昭和38年に発足した黒之瀬戸架橋建設期成同盟会の会長として関係当局に折衝を続けること10年余、後進地域からの脱却をめざし交通、観光、文化、経済の浮揚と北薩10万住民の悲願であり、積年の夢であった大橋の完成で地域躍進の基盤として広く社会発展に寄与することになりました。



昭和四八年七月、両側から伸びた橋ゲタががっちり握手し、二十三日に最後のボルトを締め、閉合式が行われました。

◆ 大橋閉合を喜び東西長島町長とガッチャリ握手！



▲ 昭和49年6月九州唯一の国民宿舎が完成

昭和49年6月、総事業費4億2千7百万円3階建ての国民宿舎あくねが完成しました。

この九州では唯一の国民宿舎の完成により、黒之瀬戸大橋の完成とあいまって、九州西海岸観光ルートの拠点として観光開発に役だつことになります。

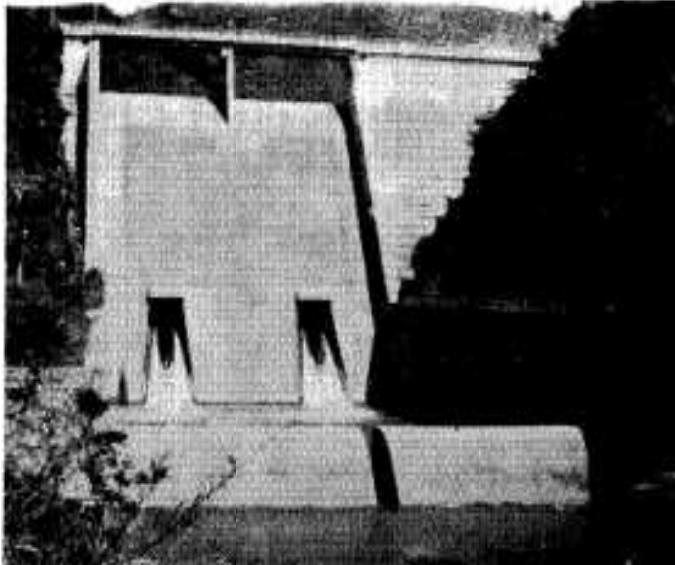


▶ 蓄々進む新港整備事業  
昭和三十八年に工費四億八百万円、五か年計画で新港が建設され現在では、四十八年度から第五次新港整備事業が十三億四千万円をかけて進められています。  
この新港が完成しますと、野町と野町との大型フェリーの就航実現が望まれるとともに、一大流通加工センターの完成、一千噸級の船舶の接岸等、漁業振興、産業経済の発展、観光面に大きく寄与することになります。



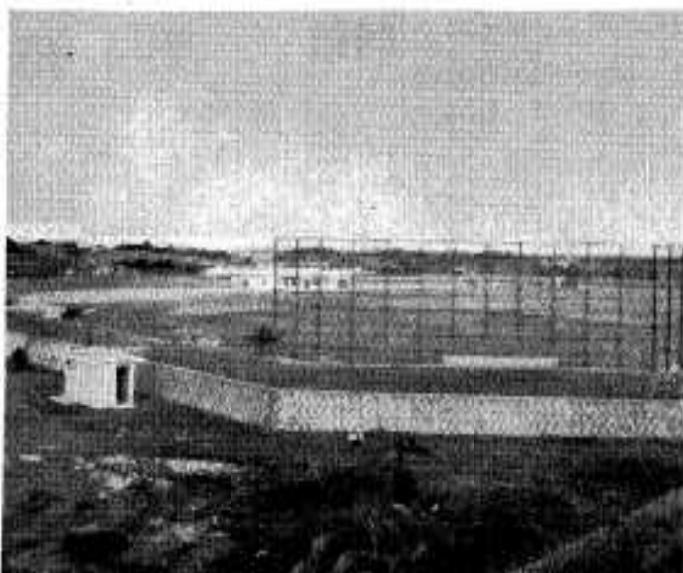
## ▲ 文化の中心、市民会館

昭和41年建設された市民会館は市の文化や娯楽の殿堂として年間6万5千人程の利用者があります。



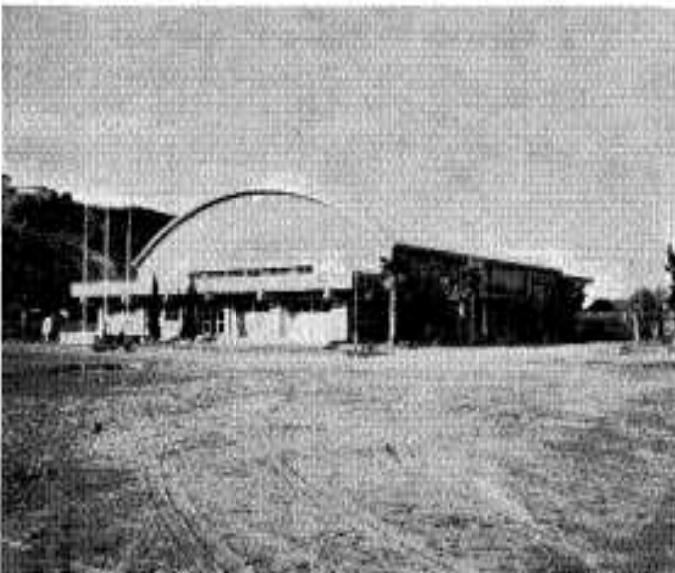
## ▲ 昭和38年に完成した高松川防災ダム

流水調節により250ヘクタールの田畠を、流失埋没の被害から防ぐことができるようになった。



## ▲ 市民の体力向上に総合グラウンド建設

広域行政事業として建設された総合グラウンドは第四種公認陸上競技場で市民の体力向上に役立っています。



## ▲ 体育の殿堂市体育館

太陽国体ではボクシング会場にもなり、市民総ぐみの総合体育馆として親しまれています。

◆申込先  
市天保山町一九の二〇  
NHK鹿児島放送局「のど  
自慢係」あて  
必着のこと  
昭和五十年二月十三日(木)  
午後二時三十分

◆申込みはひ  
とり一枚で返信用ハガキに  
はじ自分の住所、氏名を明  
記

## NHKのど自慢開かれ る

昭和50年3月2日(日)市民会館で

▽申込みはひ  
明記  
名、年齢を  
記入  
に住所、氏  
名を明記し  
てください  
▽入場希望者  
社復ハガキに  
記入  
に住所、氏  
名を明記し  
てください  
▽出場希望者  
社復ハガキに  
記入  
に住所、氏  
名を明記し  
てください  
▽応募方法  
市会場  
市民会館  
春日  
八郎、南沙織  
が予定され  
ています  
レピトラジオ

●期日 昭和五十年二月二日  
●放送日 昭和五十年三月九日  
●午後零時十五分(総合テ  
レビトラジオ)  
●第二回  
●会場 阿久根  
●ゲスト 春日  
●会場  
市民会館  
春日  
八郎、南沙織  
が予定され  
ています  
レピトラジオ



▲ 46年水害状況を説明する市長



▲ 550ミリのつめ跡も完全に復旧された

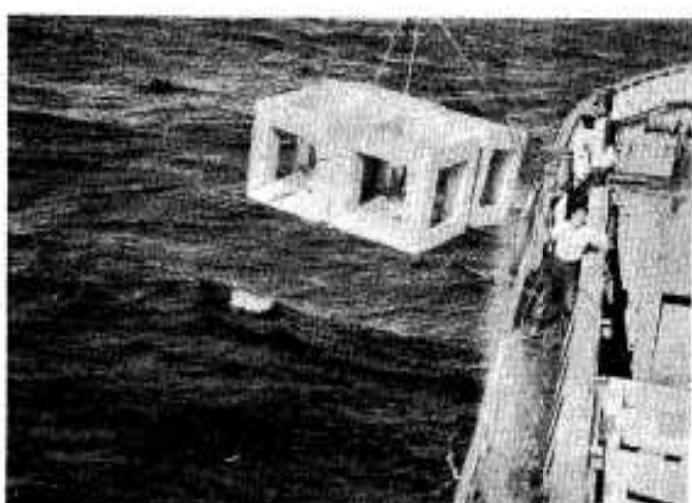


▲ 完成なった臨本小学校屋体

小中学校に体育館9館を建設し児童生徒の体力向上に  
尽力した



▲ 大洞川広域道路の完成でテープにハサミを入れる市長



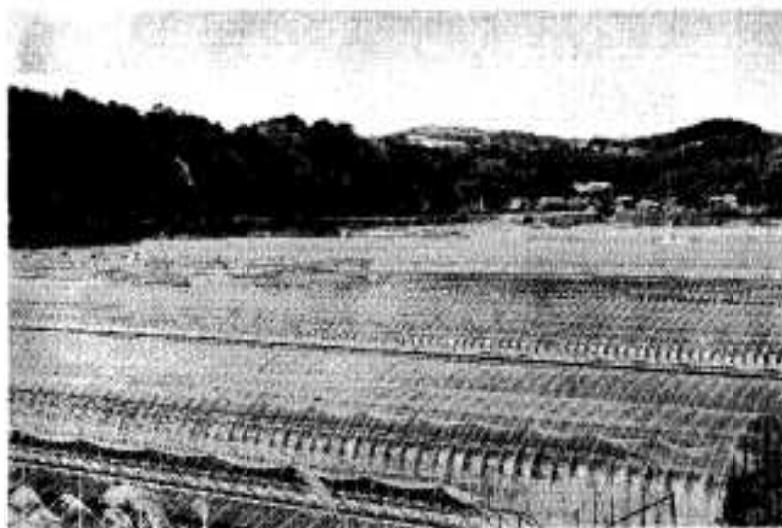
▲ 牛之浜沖に3,074個目の魚礁投入

沿岸漁業構造改善事業も積極的に行われ、46年度には市営の冷蔵庫として九州では初めての大型冷凍冷蔵庫を建設し、水産加工品の流通調整を可能にし水産業の発展に貢献しました。

また並型魚礁の投入は37年から始られ、漁場生産力の維持増大を促進し、築いその建設等を行い漁業振興に励みました。



▲ 1日500吨冷蔵できる大型冷蔵庫



▲ 山波地区の大型ハウス

山波地区では大型二連棟のビニールハウスを建設し、園芸団地も各地に建設された。



▲ 近代的な設備の誘致企業

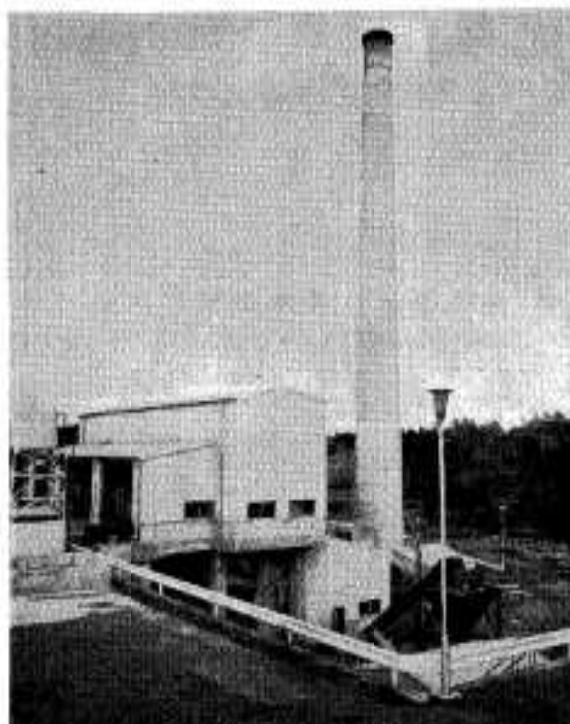
人口流出の防止、市民所得の向上にう企業が誘致された



敬老の日に記念品を贈る市長



▲ 近代化農業をめざし農業構造改善事業では場整備



▲ 丸内に建設された臺芥焼却場

広域行政事業で建設された、北薩臺芥焼却場は環境衛生に十分その効果が發揮されている

◀ 老人福祉、児童福祉の向上を図り市独自の老人福祉や、保育所3、児童館5か所を開設しています。



▲ 新団おどりで先頭に立つ市長(49年)



▲ 知名人武者行列での市長(41年)



▲ ありし日の名譽市民柳氏と市長



▲ 元厚生大臣開田直氏と歓談する



▲ 消防長として市長就任以来、団員、署員の士氣を高め、地域の治安に務められた市長。昭和四十九年には東西長島との阿久根地区消防組合の管理者として広域消防に尽力された。

▲ 昭和三十七年出初め式での市長

正六位勲四等瑞宝章および名譽市民章が贈  
族の手へ



▲ 2千人が献花を行い、市長に最後の別れを告げました



▲ 中学校生徒により祭壇にともされた灯は闇明境をさまようみたまを導いてくれることでしょう

▼ 葬儀委員長江良助役に導びかれて親しみ深い市民会館を後に



市葬に際して、市民の皆様方のご会葬と過分のご芳志に対し感謝いたしましたとともに、生前市長におよせ下さいましたご交情に厚くお礼申し上げます。

親しくお伺いしてお礼申しあげるべきですが紙面をお借りして、あいさつといたします。

### 会葬御礼

謹んで今は亡き丹宗市長に深く哀悼の意を表します。生ある者は必ず滅するとは申せりません。

市長のご逝去は信じられない気持ち



増進にたゆみない努力を続けて参られましたことは私達の深く敬服してやまなかつたところであります。

今静かにあなたの残されました輝かしい業績を振り返ってみてください。最も大きく、高松ダム建

わたし達はまだまだ元氣で今後市勢発展のためにご活躍を大きく期待していました。

市長もさぞ市民の福祉を残された諸事業を気づかわれたことでしょ。

あなたのみたまは、その功績と

## 市政史上を飾る功績 福祉の増進に努力

阿久根市議会議長 平 国 正 富

市長は昭和三十四年四月市長就任以来十六年間、よくその重責を担われ、卓越したご識見と強固な信念をもつて市民各位の期待と信頼のうちに、着々市政運営の刷新並びに合理化をはかり住民福祉のまし

設、道路港湾整備、他に類をみなない冷蔵庫の設置、国民宿舎の建設、黒之瀬戸大橋の完成、その他市政全般にわたる数々の業績は、阿久根市政史上を飾る成果を挙げられました。(略)